

令和4年度第2回大船渡市地域公共交通会議 議事録

1 開催日時及び場所

○日時 令和5年1月26日(木) 午後1時30分～2時45分

○場所 シーパル大船渡 2階大会議室

2 委員数 30名

3 出席者

○委員 25名

- ・小 岩 洋 一 (岩手県交通株式会社) 代理：舘洞良明
- ・佐 藤 保 (岩手県タクシー協会気仙支部)
- ・佐々木 清 隆 (岩手県交通労働組合大船渡支部) 代理：千田淳
- ・石 橋 厚 子 (大船渡市社会福祉協議会)
- ・村 上 可 織 (岩手県高等学校PTA連合会)
- ・千 葉 エツ子 (大船渡市各種女性団体連絡協議会)
- ・志 田 恵 子 (大船渡商工会議所)
- ・佐 藤 恵 子 (大船渡市老人クラブ連合会)
- ・金 野 律 夫 (大船渡市地区公民館連絡協議会)
- ・齋 藤 努 (東北運輸局岩手運輸支局)
- ・小 野 和 栄 (南三陸沿岸国道事務所大船渡維持出張所)
- ・齋 藤 正 文 (大船渡地域振興センター地域振興課兼復興推進課)
- ・古 舘 衛 (大船渡土木センター道路整備課)
- ・菅 原 和 郎 (岩手県警察大船渡警察署)
- ・宇佐美 誠 史 (岩手県立大学総合政策学部)
- ・柴 田 博 之 (東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社気仙沼統括センター)
- ・山 蔭 康 明 (三陸鉄道株式会社大船渡派出所)
- ・佐 藤 李 沙 (大船渡市観光物産協会)
- ・佐 藤 秀 之 (大船渡観光バス事業協同組合)
- ・江 刺 雄 輝 (大船渡市企画政策部)
- ・新 沼 徹 (大船渡市協働まちづくり部)
- ・伊 藤 真紀子 (大船渡市市民生活部)
- ・金 野 久 志 (大船渡市保健福祉部)
- ・阿 部 博 基 (大船渡市都市整備部) 代理：花崎誠
- ・遠 藤 和 枝 (大船渡市教育委員会)

○事務局 (大船渡市商工港湾部企業立地港湾課) 5名

商工港湾部長：今野勝則、企業立地港湾課長：伊藤喜久雄

課長補佐：遠藤高雄、係長：今野宏、主事補：平田将大

4 議事の経過（協議内容等）

- (1) 開 会 今野部長の司会により進行する。
本任期から新たに委員となった方々を紹介
 - ・公益財団法人岩手県バス協会 専務理事 菅原克也委員（欠席）
 - ・社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会 課長補佐 石橋厚子委員
 - ・大船渡市老人クラブ連合会 副会長 佐藤恵子委員
 - ・大船渡観光バス事業協同組合 理事 佐藤秀之委員（構成団体新規追加）
- (2) あいさつ （会長互選後挨拶）
- (3) 協 議

「会長の互選について」

委員から「事務局一任」との声があり、事務局案を提示。

事務局から、岩手県立大学総合政策学部准教授の宇佐美誠史委員を推薦。

（異議なし）

大船渡市地域公共交通会議の会長を宇佐美誠史委員に決定。

～宇佐美会長、会長席へ移動～

「会長あいさつ」

皆さんこんにちは。これまで、大船渡市地域公共交通会議の委員を務めさせていただいており、会議の場など、事務局の方々とやりとりさせていただいている中で会長のお誘いがあり、今回会長を務めさせていただくことになりました。

私は交通政策に長年携わっているので、専門的なところはしっかり意見を出していきたいと思っています。公共交通は最近どんどん苦しくなっている。委員の皆さんのそれぞれの立場から意見を出し合いながら、いい方向へ少しでも持っていけるようにできたらいいなと思っています。今日みたいな天候の悪い雪道でも安心して使ってもらえる公共交通があるというのはすごく大事だと思う。皆さんと議論を深めながらより良い公共交通を目指していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

「役員の選任について」（ここから宇佐美会長により進行）

副会長の指名について、会議設置要綱第5第2項の規定により、会長が指名することとなっております。副会長には大船渡商工会議所経営支援部課長の志田恵子さんを指名したいと思います。

（志田委員承諾）

続いて、監事2名の指名について、会議設置要綱第11第2項の規定により、会長が指名することとなっております。監事には、大船渡市各種女性団体連絡協議会代議員の千葉エツ子さん、三陸鉄道株式会社大船渡派出所兼盛駅長の山蔭康明さんの2名を指名したいと思います。

（千葉委員、山蔭委員承諾）

「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の事業評価（1次評価）について」

[事務局：今野係長より説明]

[齋藤委員（岩手運輸支局）]

質問とかではありませんが、お知らせということで、5ページの資料の⑤目標・効果達成状況のところB、C、Bと評価されていますが、評価Cだと何か補助金に影響が出るのか心配される方もいらっしゃるかも知れませんが、評価によって額が変わるということはないということをお知らせしておきます。

もう1点で心配な部分は立根田谷線の利用状況について、フィーダー補助金で1便あたり2人未満になってしまうと補助要件から外れてしまう。現在はコロナ特例があって今は大丈夫ですが、コロナ明けも実績値が2人未満となると対象外となるのが考えられますので、利用状況を気にしながら、利用促進策も考えていただければと思います。

最後に、先ほど事務局からもご説明ありましたが、事業評価については委員の皆様の承認をいただきましたら1月末までに提出をお願いできればと思います。よろしく願いいたします。

[宇佐美会長]

気にはなっていることではあるんですが、5類に緩和されコロナ明けがいつになるかにもよると思うんですけど岩手運輸支局ではどう感じてますか。

[齋藤委員]

毎年毎年要綱が変わるんですが、要綱の中身しだいで条件は毎回変わってくる。全国共通のルールで事業実施していますので、その辺は支局でというよりも本省からの通知に左右されてくると思います。5類になってしまうと条件は厳しくなるのは間違いないと思う。

[宇佐美会長]

今年は大丈夫でも来年は厳しいかなという状況ですね。ありがとうございました。

[村上委員]

高校生の人数が減ってきていることもあるんですけど、東高校の生徒で陸前高田市からBRTに乗って盛駅で県交通に乗り換えして通学している。朝の時間、盛駅でうまく乗り換えすれば行けるんですが、たまにBRTが遅れたりするとバスに間に合わなくて歩いていったりしたこともある。ダイヤも高校生の通学に合わせて設定していただいて感謝しているが、ダイヤの見直し検討というところで、高校生の時間に合わせてという考え方もあると思うし、停留所の路線図も子供たちが慣れていないと何処に行くか分からなかったりするので、分かりやすい路線図があると助かると思います。県交通で数年前に学生割引があるということで娘が利用したことがあって親としても助かっている。昨日の東海新報の記事に陸前高田市で学生割引するという記事が掲載されたが大船渡市では今どうなのか教えて欲しい。

[館洞所長]

定期券の半額補助は現状でもやっている。沿岸市町村に住所がある方を対象に半額補助を実施している。三陸鉄道さんでも定期券の半額補助を実施している。

（その他意見等なし）⇒原案のとおり承認。

(4) 報 告

「市内公共交通サービスの利用状況について」

[事務局：今野係長より説明]

[宇佐美会長]

日頃市地区のデマンド交通については、声の大きな人だけではなくて利用しそうな人も含めて意見をうまく整理されるのが望ましいので、そこはしっかり集約して内容を見直ししていければいいと思います。定時定路線のバスが成り立たないような地域でもこういった仕組みが重要になってくると思うので、地域に入って話し合いを続けて末崎地区の公共交通についても報告していただけるとありがたいなと思います。

以前から気になっているタクシーチケットについては、立根の路線バスなんかを考えると300mを超えるような人は、路線バスにはいなくなるということもあって、本当にバランスを考えてやらないと路線バス事業を考えていくうえで影響してくるので、他の公共交通機関とのバランスをよく考えながら進めていただければと思います。

[齋藤委員]

確認なんですけど、越喜来地区のデマンド交通は2年目の実証実験をしているということですが、実証実験を実施している3年間の間で内容を見直ししながら実施していくという考えでよかったですでしょうか。

[事務局：今野係長]

21条許可で3年間実施することで考えております。

[齋藤委員]

本格運行は今の予定でいくと、令和6年10月から本格運行というふうになるのか、まるまる3年使わなくても令和6年4月から実施するというケースもあると思うのですが、本格運行するためには、審査期間が2カ月あるんですけど新規許可申請というのが必ず必要になります。4月1日から運行したいということになると1月末までに申請していただいて翌月に仙台市（東北運輸局）において試験を受けていただき、それに合格すれば3月末くらいに許可になるというスケジュールになっている。交通担当部長から申請があれば、法令試験を先に受験できるという申請手続きもあるのでその時は相談していただければと思います。

なかなか試験を受けても合格しない事業者もあるので、なるべく気持ちと時間に余裕を持って受験されるようにお話しして欲しい。

「その他について」

本日出席されている交通事業者の皆様方からもせつかくの機会ですので近況や情報提供などお話をいただきたいと思います。

[岩手県交通：舘洞所長]

日頃から地域の交通、バス事業に多大なご協力ご支援いただきありがとうございます。令和5年4月のダイヤ改正についてですけれども、時刻はまだ決まっていませんが、大船渡盛岡線を今3往復しているんですけども、こちらを2往復に減便することを予定しております。

あとは、テレビ新聞等でたくさん報道されていますけれども、コロナの乗務員感染により減

便している。乗務員の2割以上が感染してしまうと全く動けない状態に陥る。路線もダイヤを調整して運行しているところです。釜石、松園、滝沢でそのような状況で対応しているが大船渡ではまだない。

[岩手県タクシー協会：佐藤支部長]

皆様にもご理解していただきたいのですが、タクシーも公共交通の一環ということを変更してご理解いただきたいと思っています。

この3年間コロナ禍で、皆さんも御存知かと思いますがタクシー業界も非常に厳しい状況でありまして夜もお客さんがなく悲鳴を上げている状態でした。ワクチン接種のタクシー利用について行政から補助を受けて実施したことは利用されたお客さんからも喜びの声があり行政には本当に感謝している。ありがとうございます。コロナだけでなく今後はインフルの発生も考えられますし、感染防止対策もしっかり実施して運行していますので安心してタクシーをご利用していただければと思っています。

資料の中にもありましたが、細浦経由高田線が廃止になってということで、市ではどう考えているのかももう少し考えをお聞かせいただければと思う。デマンド交通はタクシーを利用して運行している訳ではありますが、ほとんどの利用者は高齢者で中にはキャンセルをするのを忘れて予約していたのを忘れて色々な苦勞はある。気仙管内では地域性がありますので区域運行にあたり運輸局でアドバイスがあればありがたいのですが、営業区域の許認可の関係で、大船渡営業圏の許可をとって営業している訳ですが、大船渡市から陸前高田市間の交通圏の問題について詳しく説明して欲しい。

[宇佐美会長]

今のお話しは、デマンドでやろうとすると基本的には路線や区域を定めて申請して認めてもらうということなので、タクシーの営業区域の営業圏とはまた違う話になってくるのではないかと思う。

[齋藤委員]

通常のタクシーの許可とデマンドの乗合の許可は別ものになりますので、デマンドで運行しようとするエリアの区域を設定しながら運行していただくという形になると思います。区域を跨いでデマンド運行するというのはあまりないんですけど、やろうとすると大船渡市だけの話でなくて隣の陸前高田市との話し合いというものも必要になってきますし、既存の交通事業者（県交通、BRTも含め）とも調整したうえで、運行するというのであれば可能なのかなと思いますが、簡単な話ではないように思う。

[JR東日本気仙沼統括センター：柴田所長]

odecaカードはBRTを利用する時だけのカードでしたが、今年の7月から地域連携ICカードとしてリニューアルします(パンフレット紹介)。Suicaの機能も使えるので、電子マネーとして使えるようになります。岩手県交通さんではIwate Green Passというもので盛岡市内を中心に利用されておりまして既にSuicaと連携されています。JRでも遅ればせながらBRTも地域連携ICカードの運用がスタートすることになります。現在利用できる店舗はコンビニやイオンなど限られてはいますが、全国展開していく可能性を秘めています。群馬

県前橋市では公共交通の乗換やサービスの向上を図るため 2020 年 10 月から前 Mass として実証実験としてスタートし、昨年 12 月からは実証から実装に全国展開し、国からも補助金を出すことになっているようです。ポイントになるのはマイナンバーカードと Suica を連携して、1 枚のカードを持っていれば手続きすることなく色々な割引サービスが受けられるということです。JR でもこれまでは輸送サービスだけであったのですが、皆様の生活の部分につきましてもサービス展開していきたいと考えております。大船渡市におきましても交通事業全体と連携したサービス展開ができれば(マイナンバーカードと Suica の連携が重なれば)、もっと街の活性化、観光の方々にも楽しんでもらえるきっかけになるのではと期待しているところであります。

もう 1 つの紹介は三陸鉄道さんとのコラボ企画になります。気仙沼と釜石エリアをつないで釜石駅、盛駅、陸前高田駅、気仙沼駅のカードを作成しました。1 月から配付を開始して 1 カ月経ちましたが、既に 1,000 枚出ています。残り 2,000 枚という状況です。地元住民だけでなく遠方から沿岸に来て頂けるきっかけとなるイベントとしても考えているところであります。

また、大船渡市観光物産協会様との間でもコラボしておりまして、年末には大船渡駅前をイルミネーションで明るく照らしていただきました。今後は BRT を活用して何かイベントができないかというところを検討して、地元の皆様と連携して盛り上げていくことができればと考えています。こういった場でも何か良いアイデア等ありましたら声を寄せていただき、街の盛り上がりにも少しでも貢献していければと考えていますので引き続きよろしくお願いいたします。

[宇佐美会長]

本当に楽しいアイデアは色々出てくると思うので楽しみにしたい。年末に面白いものがあるって神奈川県なんですけど、鶴見線沿線でクロスワードパズルをやっていて、1 部の問題はそこの駅に行かないと解けないというふうに、街歩きのきっかけになっている。その街の店に入らないと分からないとか、ただ列車に乗るのではなくて、降りてからの工夫も凝らしてあって面白い企画だと思う。また次も来たくなるという仕掛けづくりが必要だと思う。

モバイル Suica については、だいぶ前からアプリで Suica をやってチャージが可能だったり、利用履歴を確認できたり、新幹線もこれで乗れる。アプリだと対応できる店舗が少なくても便利かなと思っている。

[三陸鉄道：山蔭駅長]

コロナの影響で大変なところに加え燃油価格高騰の影響もあり、どの交通事業者でも同じかと思いますが本当に厳しい状況が続いております。

先ほどは学生の数が減ってきているというお話もありましたが、少子化により子どもの人数が減ってきている中ではありますが、皆様のご協力をいただきながら様々な企画列車を運行させていただいております。

また、観光客だけでなく、地域の方々にも公共交通機関は環境に優しいと言われておりますので、通勤通学に利用していただければと思っています。

65 歳以上の運転免許証返納者については割引制度がありますし、お配りしたチラシのように貸切列車の半額利用や団体割引もありますので、皆様もご利用いただければと思っています。

[岩手運輸支局：齋藤首席運輸企画専門官]

国交省で作成した資料を簡単に説明しますが、地域交通の現状と課題として、人口減少と公共交通の利用者が減ってきているということは会議の中でもあります。それに加えてコロナの関係で出控えが発生し公共交通はますます厳しい状況であり、コロナ前の水準には戻らない状況となっています。

免許の返納の話も出ておりましたが、グラフで分かるとおり免許返納率が高くなってきており、今後も公共交通の果たす役割は重要となってくるものと思われま

す。路線バス事業は約7割の事業者において収支が赤字であり、運転手の人手不足の状況も深刻化してきている状態です。支局ではこのような状況を訴えるために、毎年10校程度回りながら運転手を希望している生徒があれば進路指導の先生に説明して、運転手不足の後押しとなるような取組を行っているところです。(運転手を希望する生徒はなかなかいないようである。)

他、この会議に関係する地域公共交通活性化再生法や地域公共交通計画についての資料となっておりますので時間のあるときに見ていただければと思います。

～宇佐美会長は、ここで議長の任を終了～

- (5) その他 事務局：今野部長
その他皆様から何かございませんでしょうか。
(その他特になし)

- (6) 閉 会 午後2時45分閉会